

# インドネシア・ビジネスマネジメント研究所活動実績報告書

令和2年4月1日～令和3年3月31日

令和3年8月31日

所長 田中宏和

## 1. 研究概要

国際化、IT化の世界的な流れを認識し、①日本的経営を基本としながらも東南アジア系外国出身の高度職業人材を雇用・活用できる態勢づくりを行い、②自社の経営改革を担えるリーダーの育成を行うことを目的としており、以下に掲げる人材を育成する。

- －国際化、IT化の視座と企業全体を俯瞰できる広い視野、大きな志
- －三現主義にもとづく具体性(観察)
- －既存の概念に囚われず、問題の本質を追求するアプローチ(洞察)
- －戦略思考とマネジメント手法を活用した変革のストーリー(シナリオ作成)
- －現状打破に向けて組織を牽引していくリーダーシップ(変革)

具体的な活動は、以下に2点にターゲットを置いている。

### (1) 海外出身の高度職業人を雇用・活用するための仕組みづくり

- －高等教育機関で学ぶ留学生との交流
- －戦略的インターンシップによる日本的経営の理解※1
- －留学生を通じて母国の政治・文化・ライフスタイルを学ぶ※2

※1 組織の一体感、仕事を通じた働く喜び、チームによるKAIZEN活動、終身雇用による人生設計。

※2 卒業後はインターンシップ先に就職し、将来的には海外拠点において日本人マネージャの右となって活躍する。

### (2) 次世代型リーダーの育成

- －マネジメント力とリーダーシップ力の育成
- －KAIZEN活動を本社で行い、企業の特성에応じたKAIZENノウハウを作り上げる。
- －海外拠点にKAIZENノウハウを移植し定着させる

## 2. 令和2年4月1日～令和3年3月31日の活動成果

本研究所は、産学連携と国際連携により研究を推進していくことが前提となっているがコロナ禍によって活動が大きく制限されているのが実情であるが以下の実績を残している。

- (1) 名古屋工業大学が主催する工場長養成塾において、日本的経営の進化と国際化に関する講座を提供した(令和3年2月)。
- (2) 静岡銀行が主催するShizuginShipにおいて経営管理講座を提供した(令和2年11月)
- (3) Telkom大学が主催する大学間連携イベントに協力し、ビジネスゲームのツールを提供し、講師を務めた。